

善された。

6. DORV, PS を伴う AV Discordant Criss-Cross (Superoinferior-Ventricular) heart に対し心房内血流転換 (Senning), 心内導管 (LA → AO) 作製及び Rastelli 手術で根治した 1 例 An AV discordant Criss-Cross (Superoinferior ventricular) heart with DORV and PS: Total repair by intra-atrial switching, intraventricular conduit (LV → AO) construction and Rastelli's procedure.

(神奈川県立こども医療センター胸部外科)

大川 恭矩・伊藤 健二・長田 信洋・柳生 邦良・厚美 直孝

心房心室錯位, 上下関係心室, 両大血管右室起始 (SLD), 大きな subaortic VSD, 肺動脈弁及び弁下の強い狭窄, 左上大静脈遺残, 両側 BT shunt 後の 6 歳女児に対し, 1) 心房内血流転換 (Senning 手術), 2) 右室を大動脈基部に向かって切開し, LV → AO へ心内導管作製, 3) RV → PA へ弁付グラフトによる心外導管作製による根治手術を行った。大動脈遮断時間は 95 分で術後 LOS や AV block の発生もみず経過は良好であった。

7. 右胸心, 房室錯位を伴った両大血管右室起始兼肺動脈狭窄症 (IDD) の 1 手術治験例

A case of DORV with PS associated with dextrocardia and A-V discordance (IDD).

(国立小児病院心臓血管外科)

半田 宣弘・常本 実・島田 宗洋・太田 喜義・寺田 功一・安藤 直明

(循環器科)

石沢 瞭・高野 良裕・山本 真・曾根 良治・二瓶 浩一

13 歳男児。伝導系は正常走行と考えて VSD パッチ閉鎖, 2 弁付ロール馬心膜と EPTFE 管の合成心外導管を用いた。術後洞調律, アンギオで 2 弁心膜の逆流は殆どなかった。

8. Morrow 原法 Myectomy と僧帽弁置換術を行った IHSS の 1 治験例

A case report of surgical treatment of IHSS by myectomy (Morrow's original procedure) and MVR.

(東京慈恵会医科大学心臓外科)

森田紀代造・堀越 茂樹・鈴木 茂・小机 敏明・佐々木達海・宮沢 総介・

益子 健男・高安 英樹・楠山 明・坂本 吉正・宮本 尚樹・新井 達太

30 歳男性, 左室大動脈圧較差 130 mmHg, MR II⁺ を呈する IHSS 症例に対し Myectomy 及び MVR を施行, 術後圧較差の消失を認めたので報告する。

9. 僧帽弁より発生した粘液腫の 1 手術治験例

Myxoma of the mitral valve leaflet—A surgical case—

(虎の門病院循環器センター外科)

久木田雅弘・布施 勝生・幕内晴朗・小西敏雄 (同内科) 小宮山伸之・西川 英郎・関 顕 (同病理学科) 原 満

僧帽弁前尖に原発した粘液腫の 1 例に僧帽弁置換術を行った。初発症状は脳塞栓症で, 心超音波検査で発見された。僧帽弁粘液腫は現在まで 8 例の報告をみるのみであり, 剖検例を除き本邦では報告がなく極めてまれである。患者は退院し, いまだ再発の徴はない。

10. 先天性孤立性僧帽弁閉鎖不全症の 1 手術治験例 A case of congenital isolated mitral insufficiency.

(国立小児病院心臓血管外科)

安藤 直明・常本 実・島田 宗洋・太田 喜義・寺田 功一・半田 宣弘

(同循環器科)

石沢 瞭・高野 良裕・山本 真・曾根 良治・二瓶 浩一

8 歳男児。心エコーで僧帽弁裂隙と診断され, アンギオ上 3 度の MR, 経心房中隔的に僧帽弁前尖の弁尖より弁輪に至る裂隙を直接縫合した。術後アンギオ MR 1 度となった。

11. 最近経験した肺破裂の 1 例

A case of pulmonary rupture

(済生会神奈川県病院外科)

早川 邦弘・内田 智夫・加藤 良一・前中 由己

胸部外傷の中でも重篤な肺破裂の治療は困難をきわめており, 死亡率は 80% に達している。症例は 21 歳の男性で, 交通外傷後約 20 分で当院搬入, 胸部 X 線上左血気胸, 左肺雲状影及び左 V・VI, VII, 肋骨骨折の所見を得, 気管内出血も認めた。救急処置後左肺下葉切除, 左上葉縫合及び肋骨固定術を施行し救命し得た。

12. 鈍的外傷による左鎖骨下動脈離断の 1 例

Blunt injury to the left subclavian artery

(公立昭和病院外科)